

互恵性のある交流

1 幼稚園と小学校との交流活動

〈交流の目標〉

- 園児 ・小学生との交流を通し、あこがれや親しみをもち、小学校への期待をもつ。
- 小学生 ・交流活動を通して、園児への理解を深め、自分たちのできることを確認し自信をもって自主的にかわる。
- ・園児と遊ぶことを通して、自分の成長に気付く。

〈交流の視点〉

- ・交流や連携を深めながら、互いの教育を理解していく。
- ・相互のねらいや方法を踏まえる。
- ・無理のない計画を立てる。



交流活動 内 容	ね ら い		子供の姿	
	幼稚園	小学校	幼稚園	小学校
幼稚園で遊ぼう	小学生や先生と触れ合い親しみをもつ。	幼稚園を訪問し交流を始めることを楽しみにする。	小学生と一緒に過ごすことを楽しんでいる。	園児に自ら話しかけている。
学校探検ペアの子と校庭で遊ぼう	小学校内を探検をしたり、遊んだりすることを通して五年生に親しみをもつ。	学校紹介の準備を行い、学校のことを園児に分かりやすく紹介できる。 	五年生と一緒に学校を探検する。いろいろなことを教えてもらおうとする。 広い校庭や高い遊具はいつもと違う。小学生と過ごす楽しい。	園児の様子や願いを生かしてかわっている。安全に配慮している。園児の行動に対して、優しい言葉や認める言葉をかけている。
ゲームをしよう グループで遊ぼう	小学生とグループの仲間であるという意識をもちながら、一緒に遊ぶことを楽しむ。	園児の実態や願いを生かして、交流内容を考えることができる。 年少者に対して、理解を深めることができる。	顔見知りになった小学生と親しみの気持ちをもって、スムーズに遊び出す。 やりたいことを伝える。小学生が話を聞いてくれて嬉しい。	仲良しになった園児と過ごす。 園児の思いを受け入れながら、話し合いでアイデアを出している。 自分たちの活動を振り返る。
多摩川あそび	小学生や先生と触れ合い、親しみをもつ。 多摩川の自然物を使ったいろいろな遊び方を知る。	多摩川の生き物や植物等について調べたことや遊び方を、友達や園児に進んで伝えたり、一緒に遊んだりできる。	一年生と過ごす。一年生と一緒に植物を集めたり、比べたりしながら遊ぶ。 一年生の知っていることや遊び方を教えてもらいまねてみる。	自分から園児を誘い、遊び方を教えたり、年長児がどんな遊びをやってみたか聞いてみたりする。 困っている人がいたら助けてあげる。
小学校で遊ぼう	小学生と一緒に過ごし、あこがれや親しみをもつ。	自分たちで遊びの交流計画をたて、交流することができる。 積極的に話しかけかわりを深めることができる。	自分のできそうなことや、やりたいことを話す。 小学生の話を聞きながら遊びに使うものを作って一緒に遊ぶ。	園児に自ら話しかけている。 年長児の目線に立った表現方法を使っている。
給食交流	小学校の施設を見せてもらいながら、教室で小学生と一緒に給食を食べたり、触れ合ったりして就学を楽しみにする。	給食交流の計画を立てて交流することができる。 積極的に話しかけ、かわりを深めることができる。	給食体験を通して、食べる楽しさや小学生と触れ合う楽しさを感じる。 給食を食べられることで安心感をもつ。	給食の食べ方を園児にも分かる話し方で伝える。 園児の思いをくみながら、相手のことを考え、優しく接しようとする。 楽しく食べられるよう配慮する。
もうすぐ一年生	教室を使わせてもらい、一年生になることに期待をもつ。 	学校生活紹介の活動を通して、学校のことを教えることができる。	持ち物を見せてもらったり、教科書を使わせてもらったりしながら、小学生の気分を味わう。わくわくする。楽しく過ごす。	園児にも分かるような表現で伝える。 学校の様子について進んで教える。 園児とのかかわりを通して、自分の成長に気付く。